

		⑧ 聞いた数を答えよう	
		聞いた内容を少しの間記憶しておく	
		全体への支援	より個別的な支援(教材の工夫など)
3	学習のルール	7) ・「聞いてください」と言ってから話す, 聞き漏らしたら「もう一度言ってください」と言うなどを学級のルールとして決めておく 8) ・静かに聞く姿勢になってから話をする ・「相手を見て話す」「相手を見て聞く」などを学級のルールとして掲示して意識させる ・学級のルールをイラストなどでも示す ・話が聞き取れない児童生徒に対して, 近くの児童生徒が教えるような支持的な関係をつくる	8) ・学級のルールは文章で示すだけではなく, イラストなどが入っているものを活用する
4	指示の出し方	9) ・注目させる場所, 人, 物を指差しや図などを使って明確に示す ・注目させる言葉を決めて, 提示する ・全員が注目しているのを確認してから指示を出す ・追加の指示は出さない ・話し手に体を向けるなど集中して聞くことができる姿勢を取らせる 10) ・文と文の間は, 一呼吸おいて指示をする ・抽象語を少なくし, 具体的な短い指示を出す ・1回の指示では, 一つの動作のみ指示する ・全体に出す指示と個別に出す指示を区別して伝える ・声の大きさ, 抑揚, 速さに気を付ける ・指示代名詞はできるだけ使わない ・「要点を三つ話をします」のように聞きやすい工夫をする 11) ・必ず聞いて欲しいことは, 板書するなど見える形で指示を示す 12) ・授業の途中で, 何度か課題の達成率を確認する	9) ・教師が手をたたくなどして, 注目させる ・追加の指示を出す場合には, 作業や活動を止めてから指示を出す 10) ・聞き誤りや聞き逃しの多い児童生徒の場合は, そばに行き注目させてから指示を出す ・必要な児童生徒には, 全体指示の後, 個別に指示する